

- 平成20年度 町の総予算と一般会計予算
- 一般質問
- 常任委員会報告
- 飯南町への想い（寄稿）

飯南町議会 島根県飯石郡飯南町下赤名890番地  
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867

第13号

平成20年4月21日



## 昔、国盗り 今、焼き鳥

赤名峠の貴重な資源を活用し、両県の交流とまちづくりを活性化させることを目的とした国盗り綱引き大会が 4月20日に開催されるのを控え、現場の整備が布野町まちづくり連合会と赤名公民館の皆さんで行なわれ、楽しい交流の場になりました。広島県と島根県境にある赤名峠は、日本百名峠のひとつでもあり、銀山街道の名残を感じる空気が今も残っています。



平成20年度 飯南町の総予算は

# 89億1千6百41万円

一般会計予算は  
59億2,233万円

各会計		予算総額
一般会計		5,922,330千円
特別会計	国民健康保健事業	740,377千円
	老人保健事業	103,901千円
	後期高齢者医療事業	155,511千円
	介護保険サービス事業	21,655千円
	簡易水道事業	342,662千円
	下水道事業	435,554千円
	住宅新築資金等貸付事業	1,262千円
飯南町病院事業		1,193,160千円
合計		8,916,412千円

3月定例会は、3月4日から3月19日までの16日間の日程で開かれました。  
 今定例会には、条例関係15件、予算関係14件、その他6件が提案されました。また、追加により公の施設の指定管理者の指定について1件、補正予算について1件、議員から議員報酬及び費用弁償の支給額の特例に関する条例の制定について2件、陳情意見書送付について2件が提案され、審議の結果、いずれも原案どおり可決されました。

**3月定例会で可決された  
主な議案は次のとおりです**

**議員発議**  
 議員報酬及び費用弁償の支給条例の特例に関する条例の制定など四件

**条例関係**  
 飯南町課設置条例の一部を改正する条例など十五件

**予算**  
 平成十九年度飯南町一般会計補正予算(第六号)など十五件

**その他**  
 公の施設(農産物加工施設)の指定管理者の指定についてなど七件

## 4月より更に議員報酬減額

また、今年度も定例議会及び臨時会に係る費用弁償を支給しないこととしました。

町3役と議会議員に対する減額支給が4月より引き続き実施されます。

	現行	改定		現行	改定
町長	730,000円	584,000円	議長	298,000円	268,000円
副町長	620,000円	527,000円	副議長	246,000円	221,000円
教育長	560,000円	476,000円	委員長	215,000円	195,000円
			議員	205,000円	185,000円

期末手当についても0.15ヶ月減額いたしました。

頓原中学校より大万木山を望む

花栗地区から琴引山を望む



### 陳情

【陳情者】  
 松江市嫁島町九一三五  
 共済の今日と未来を考えるしまね懇話会  
 代表 古沢正治

【内容】  
 自主共済制度を保険業法の適用から除外するよう求める意見書採択に関する陳情

【審査委員会】  
 総務厚生常任委員会

【審査結果】  
 採択

【陳情者】  
 米子市道笑町三丁目一七一―二  
 国鉄労働組合米子地方本部  
 執行委員長 小村宗一

【内容】  
 「JR不採用問題の解決に向けた協議の開始を求める意見書」の提出を求める陳情

【審査委員会】  
 総務厚生常任委員会

【審査結果】  
 採択



第9回全共会場風景

### Q 国へ強く安定対策の要望を A 価格の変動を注視しながら

永井 章議員  
畜産農家は、輸入飼料価格の高騰と原油価格の値上がり等によって厳しい経営が続いています。酪農振興では、国の飼料価格安定制度の補償価格の充実と乳価の引き上げを強く要望すべきです。また、町独自の自給飼料対策の考えは、町内四酪農協の統一に向け指導されるべきです。

山崎英樹町長  
国・県では、価格安定制度における補填金の早期支払い、運転資金の利用促進や資金貸付制度などが行われています。今後、価格の変動に注視しながら、さらに対策が必要になれば関係機関と連携し、要望します。また、自給飼料生産のための機械整備に助成をし、生産費の軽減を図ります。四酪農協はそれぞれ主体を持って運営されているので、各組合の運営を見守りながら必要に応じて対応します。



### Q 山林を生かした対策を A 山林の利用は有効

永井議員  
和牛対策では、山林を生かし、放牧場を設置し畜産振興を図るべきです。また、昨年の全国和牛能力共進会では島根和牛は残念な成績でした。次期長崎全共への対策は、  
山崎町長  
赤名スキー場周辺を放牧場として整備をし、利用も進んでいます。山林の利用は有効な手段なので、必要性を感じています。次期全共対策については、県外優良雌牛の導入など、本町の和牛改良に努めます。



放牧場

## 3月定例会 町政を問う 一般質問

### Q 住民本位の後期高齢者医療制度を A 住民の実態を反映

伊藤好晴議員  
保険証は、高齢者の命の綱です。資格喪失による資格証の発行は絶対しないこと、また、町独自の減免制度の導入を求めます。  
制度の運用には、広域連合議員の増員や審議会などの住民意見が反映できる取り組みを広域連合に要望すべきです。



山崎英樹町長  
資格証の発行には、滞納の理由を十分くみとり、機械的な対応はしません。広域連合による、収入が著しく減少した場合の保険料の徴収猶予や減免制度により措置します。

住民の実態を反映できる形づくりに努力します。



楽しい学校へ 足どりも軽く(来島小学校)

### Q 学校給食は町内産で A 積極的に地産地消を

伊藤議員  
給食素材は、直ちに安全・安心なものに切り替えるべきです。契約栽培など供給方法を工夫し、農業の活性化のためにも、供給可能なものは、町内産に切り替えるべきです。また、米飯給食は週五日にするべきです。

### Q 住民主体の地域づくりを A 住民の参画で

伊藤議員  
自由闊達な討論のなかから、現在、真にその地域に必要なものを見つけていく活動が、全町の必要では。  
山崎町長  
「住民の参画によって育てる町」の実現のため、住民による地域活動、まちづくり活動の企画提案地区、自治区における行動計画の策定を重点施策として推進します。

中 稔教育長  
品質管理の徹底を行います。

地産地消は、安全性や農林業の活性化だけでなく、郷土愛など教育の一環として大きな意義があります。週五日米飯給食は、食育の面からも協議が必要です。





中山間地域研究センター

# 3月定例会 町政を問う 一般質問

## Q 地域力向上への取り組みは A 活性化プランの策定を

長島正一議員  
限界集落の対策が求められています。

将来、集落の維持機能や農地を管理する担い手の大幅減少が予想され、ひいては自治体の限界となっていくと見られます。当町の将来に向けての取り組みは、

されています。

当町も十年後には、多くの集落が対象になると予想されます。

新年度、新たに元気な地域づくり事業に取り組む、地域からの活性化プランの策定を考えています。

## A 自治区単位で

松田企画情報室長

集落カルテ作成を自治区単位で、また、将来に向けた集落診断の話し合いには、町外や大学生等の参画も検討し、地域プランの樹立を考えています。



## Q 地域ブランドの推進策は A まるごと飯南ブランドを

長島議員

昨年来、日本の食を取り巻く環境は、根底から見直しが求められています。

循環型農業を実現する耕畜連携や学校給食の食育、福祉施設等の食産業などの課題について、地産地消の足元からの取り組みが必要では。

山碓町長

丸ごと飯南町という地域ブランドづくりに努めます。

中 教育長

学校給食も積極的に農家のみなさんと協議しながら、地域の農産物を取り入れ、食育を推進します。

## A 地産地消の推進を

熊谷農林課長

国、県の対策を踏まえ、地域資源を活用した本町独自の対策を進めていきます。

また、施設への地元産食材を増やすため、JAとともに取り組みを支援します。

田部副町長

町内の福祉施設(二一〇名)にも、安心・安全な町内産の食材を使用するよう指導します。

## Q 飯南町の耕畜連携は A 県事業を活用し推進

門 眞一郎議員

稲作に続き、畜産・酪農も危機的状態となり耕畜連携による支え合いの仕組みにより、局面の打開を図るべきであり、耕畜連携の考えは。

山碓英樹町長

エコ米生産を推進する上でも、堆肥施用による地力の向上は有効で、町内産稲わら等の粗飼料の安定的供給は、子牛が健康に飼育されることで、安全な農産物の生産に結びつくと考えます。県のプロジェクト事業を活用しながら、稲わら収集機械の導入事業とあわせて、飯南町版の耕畜連携を推進します。

## Q ホームページの活用を A 里山コミッション設立で

門 議員

公式ホームページのほかに本町を紹介するホームページをつくり、森林セラピー他、本町の売りたいものを積極的にPRし、新たな販売手段として活用する考えは。

山碓町長

様々なホームページを利用し、特産品は紹介していますが、本町まとめて売り込み



ットはまだありません。

里山コミッションを設立し、特産品の販売拡大と情報発信をする計画で、事業者、団体等の販路拡大を支援します。

パソコンや携帯電話等の媒体を使い、商品宣伝、購入サイトの構築など事業者等のみなさんと一緒に取り組み、丸ごと飯南情報の発信提供を目指します。



町の公営住宅

# 3月定例会 町政を問う 一般質問



憩いの郷 衣掛

## A 衣掛としての企画を

**石橋 宏議員**  
憩いの郷「衣掛」は指定管理者制度により、大新東が運営しています。この制度による利用客の増減など、現状とその成果、今後の見通しは。

**山崎英樹町長**  
憩いの郷「衣掛」の運営は、指定管理料の軽減で一定の成果がありました。しかし、利用客売りの増加はなく、成果はいまひとつです。今後の売り上げ増に向けては、近隣市町との協調と本町の施設や自然、地域、文化など、衣掛が主体となった企画を進めていくよう、更に連携を深めます。

## A 経済的波及効果を

**石橋議員**  
昨年、石見銀山が世界遺産に登録され、本町も銀山街道として脚光を浴びてきました。今後、銀山街道をどのように活かしていくのか。また、観光客の増加が予測されるなか、本町としての特産品の開発が必要です。今後の取り組みは。

**山崎町長**  
森林セラピーを核とした体験交流プログラムの推進や、自然豊かな山々を活かしたトレッキング、銀山街道ウォーキングなど、交流人口の拡大を目指します。この交流を定住に結びつけ、町内全域への経済的な波及効果を考えていきます。

また、「銀山街道を活かした特産品をつくる会」が発足しており、実践事業に取り組んでいます。いろいろな知恵を出し合って特産品づくりに努力します。



銀山街道イベント 茶屋むすめたち



## A 地域振興と利便性を考慮

**安部朋次議員**  
本年度予算で住宅建設設計調査費が計上され、次年度以降での建設が見込まれます。用地選定は地域の活性化、利便性など十分考えて決定することを提案します。  
**公営住宅難の解消には、町内に実家を持った若い世代が実家へ帰るために二世帯住宅への改築の必要があり、改築資金利子助成制度に加え、改築資金も助成する考えは。**

**山崎英樹町長**  
町営住宅がほとんど空き家のない状況です。



平成二一年度で新規の住宅、八戸程度を予定しています。本年度その建設場所を含め、地域振興と利便性を考慮して設計をします。連担地は空き家の増加、高齢化も進んでおり、地域と一体となった公営住宅が必要と考えます。定住対策は希望者が住宅を新築、改築、購入される場合に、借入金の利子相当額を助成します。

## A 工夫をしながら

**安部議員**  
保育所は四ヶ所で一八〇名余りが入所しています。民営化が検討されているが、財政状況や職員定数削減の方向だけでなく、職員の補充については、現在の入所児童の環境を第一に考え、退職職員の補充をする必要があるのでは。



保育所での銭太鼓の練習

**山崎町長**  
保育職員は、近年採用していません。三〇・四〇歳代の保育士がいらないという課題や退職者もあり、全体のバランスが悪くなっています。民営化を検討中で、町職員として採用することに問題があり、今後の人材を得ることに工夫をしながら、場合によっては民間の力も借り、人的体制を整えます。

## 使用料を毎月から隔月に向けての条例改正

下水道使用料などの徴収について、条例の一部を改正する条例を可決しました。  
 これまで毎月使用料を徴収していましたが、4月から隔月収納（2ヵ月分）により、委託業務経費の節減を図る条例改正です。

## 公の施設を指定管理者に

農産物加工施設外4箇所の施設の指定管理を引き続き行う、指定管理者の指定について可決しました。



都加賀農園 ほうれん草施設



バイオマス事業 マキストーブ視察



新市赤名線視察



花栗線視察



赤来中学体育館 結露防止策視察

# 常任委員会 報告

## 平成20年度一般会計当初予算に意見

●林業振興費のバイオマス事業については、費用対効果を検討されたい。との審査意見を付しました。

## 課設置条例の一部を改正

この4月から、自治振興課及び企画情報室の1課1室を廃止し、組織の簡素効率化、総合振興計画のプロジェクトを推進していく重要な役割を担う「里山コミッション」を設置し、人的体制も整えながら地域づくりの企画運営が必要であることなどから、政策推進課の組織体制の強化を図るための条例改正です。

## 保険制度の改正に伴い条例の一部を改正

福祉医療費助成条例、国民健康保険条例などが、この4月から始まる後期高齢者医療にかかる制度の改正に伴う一部の条例改正です。

## 平成20年度一般会計当初予算に意見

- 地域振興費の生命産業プロジェクト事業推進計画のなかで、里山コミッション担当による道の駅「赤来高原」へ事務所を設け、各プロジェクトの商品開発販売やフロンティア赤来とのイベント事業を進めていくためにも、環境整備が必要であると意見を付しました。
- 全般にわたる委員会審査の意見として、保育所及び病院給食委託等の民営化については、経過説明不足であった。今後は手順を踏み議会に対し説明及び報告をされたい。
- 社会福祉協議会に町職員を派遣している、更に行政も補助金を支出している以上適切な指導と監督をされたい。以上の審査意見を付しました。



# 飯南町への想い

寄稿

## 「飯南町へ住んで」

飯南町上赤名 八嶋 奈美恵



女亀山山頂の三角点に立って



赤名峠に二二〇年ぶりに里帰りした  
国境の碑を迎えるイベントで

飯南町に住んで三度目の春を迎えました。この町には、野山のみどり、そこに咲く草花、小鳥のさえずり、空の色、風のおい、小川のせせらぎにまで、四季折々の美しい調べ、美しい表情があります。

私はこの豊かな自然のなかで、ゆっくりと子育てができることをとても幸せに思っています。

昨年は、一歳になったばかりの息子を連れて、女亀山のおむすびサミットや、銀山街道の赤名峠に百二十年ぶりに里帰りした、国境の碑を迎えるイベントに参加しました。どちらのイベントでも、思いがけなく最年少の参加者として息子が紹介され、立派に成長するよう励まっていたきました。それはとてもまじめで、素朴で、楽しいイベントでした。

温かくやさしく、さわやかな地域の人々から、私は多くのものを学ばせていただきました。この町の良さ、豊かさがいっまでも大切に受け継がれていくことを心から願っています。



## 自治功労者表彰受賞

安部朋次議員  
櫻井秀憲議員

二月二十二日に開催された、島根県町村議会議長会総会において、在職十五年以上にわたる議員活動に対し、安部朋次議員と櫻井秀憲議員が全国町村議会議長会長から表彰されました。



安部朋次議員



櫻井秀憲議員

## 那須議長春の園遊会に出席

那須穂士輝議長は、今月17日赤坂御苑で開かれた春の園遊会(天皇、皇后両陛下主催)に招待され出席しました。

園遊会には各省庁から推薦された各界功労者、閣僚、国会議員、地方自治体の首長や議長、在京の各国大使らその配偶者で約2,500人、島根県からは那須議長(島根県町村議会議長会会長)ら4人が招待されました。

## 編集後記

揮発油税に道路特定財源の暫定税率の期限が切れて、四月一日から値下がりすることになりました。

今定例議会で審議した、飯南町の平成二十年度予算への影響は一億七千八百万円余と見込まれています。

一般財源化の議論があります。が、わたしは道路特定財源が必要ないのであれば、暫定税率を維持して一般財源化をするのではなく、暫定税率は廃止すべきだと考えています。

さて、昨年九月から二年ぶりに編集に携わることになりました。

議会の動きをありのまま伝え、町民のみなさんに読んでいただける紙面づくりに努力していきますので、ご意見をお寄せください。

よろしくお願いたします。

議会広報編集委員会

〈小野 寛〉